

秋田市マイタウン・バス南部線河辺地域の導入経緯

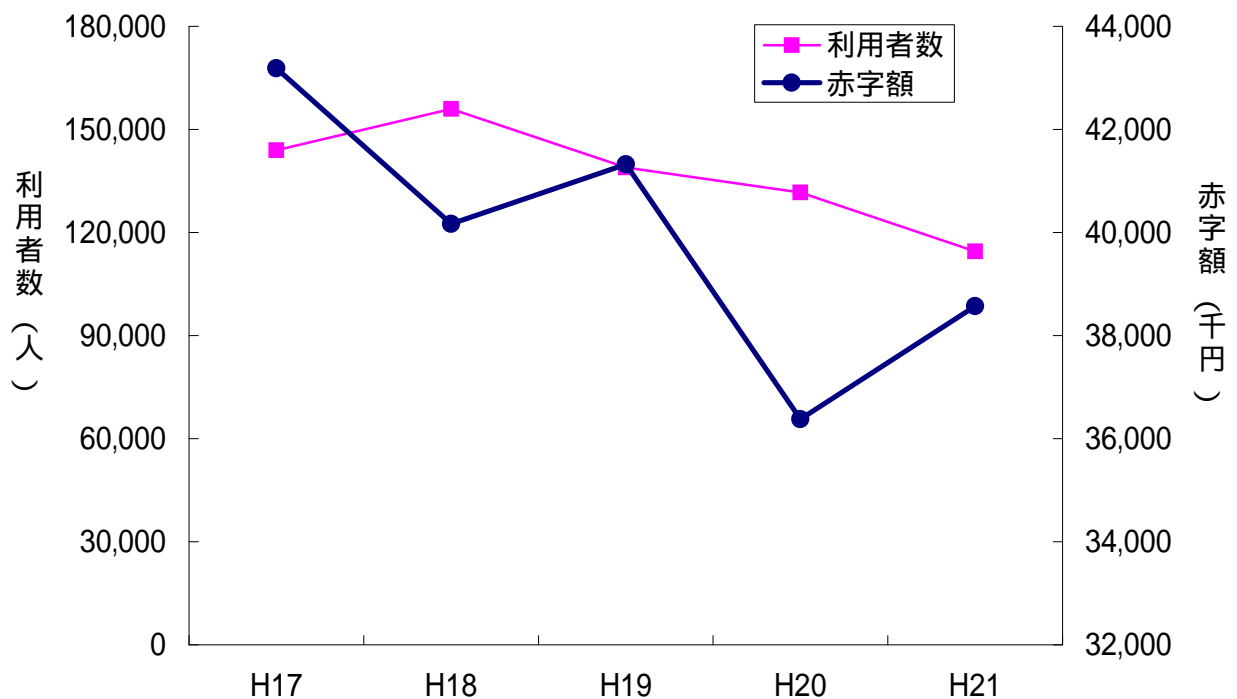
1 秋田市の乗合バス事業の現状について

県内の乗合バス輸送人員(利用者数)は、マイカー社会の進展などを背景に、年々減り続け、平成18年度はピーク時である昭和44年度の7分の1以下にまで落ち込んでいる。

秋田市においても同様の減少となっており、近年においては、平成9年から平成19年までの10年間で48%もの減少となっている。

2 岩見三内線の状況について

岩見三内線においても、バス利用者の減少は、同様の経緯をたどっている。



3 平成21年度(H20.10~H21.9)の主な赤字路線 (百万円)

順位	路線名	運賃収入	運行費用	赤字額
1	ユージュル	10	65	55
2	岩見三内	25	64	39
3	五城目	53	84	31
4	太平	28	53	25
5	仁別	24	46	22
6	雄和	25	46	21
7	船川	13	32	19
8	追分	22	38	16
9	上北手	12	24	12
10	仁井田御所野	36	46	10

4 秋田市の現状と取り組み

(1) 市内乗合バスの現状

市内バス路線は、ここ10年、輸送人員、運送収入とも毎年約6～7%の減少が続いている。

市内を運行する190系統のバス路線のうち、約70%の133系統が赤字で、その赤字を市、県、国の補助で補填した上で、さらにバス事業者も負担(系統数はH20年度実績)

主な赤字路線は、市郊外部や近隣市町村へ向かう路線が大部分

(2) 郊外部の不採算路線の取り組み

平成17年2月 市全域のバス路線維持方策を取りまとめた。

1)バス事業者は、路線再編やダイヤ改正等を行い、経費を削減する。

2)バス事業者が路線廃止した不採算路線の郊外部は、市による委託運行を導入する。

3)市民の移動手段を確保する上で必要となる、当面の市単独補助制度を創設する。

平成17年10月～ 秋田市マイタウン・バス西部線の運行開始

平成20年 4月～ 秋田市マイタウン・バス北部線(予約式乗合タクシー)の運行開始

平成21年10月～ 秋田市マイタウン・バス南部線(一部予約式乗合タクシー)の運行開始

平成22年 4月～ 秋田市マイタウン・バス東部線の運行開始